

平成 21 年 1 月 27 日

J S P S ロンドン

英国の大学等における説明責任に係る負担に関する調査結果について

2009 年 1 月 27 日、HEFCE は、英国の大学等における説明責任に係る負担に関する調査の結果を公表したところ、概要は以下のとおり。

1. 調査の実施概要

○HEFCE は、大学等における事務的負担を削減するため、民間会社 PA コンサルティング・グループに委託して、説明責任に関する費用(Costs)・影響(Impacts)・負担(Burdens)について、2000 年、2004 年、2008 年の 3 回にあたり調査を実施してきた。この度は、3 回目の調査(2008 年)の結果である。

○本調査は、75 以上の調査対象項目について、20 の大学等に対して、100 回以上のインタビュー、大学等のマネージメント・システムに係る膨大なデータ解析を実施した。「調査対象項目及び費用(2007 年度)」、「主な調査対象項目(2003 年度～2007 年度)」、「調査方法」を、それぞれ、表 1、図 1、図 2 に示す。「3. 参考資料」を参照

2. 調査結果

○大学等における説明責任に係る費用は、2004 年から 2008 年の間に、21%削減された。これは、HEFCE の戦略的計画の目的に広く沿ったもので、HEFCE としては、2010 年度までに、さらに 10%削減したい。なお、過去には 2000 年から 2004 年の間に、25%削減済みである。

○項目別にみると(表 1 参照)、英国研究会議の競争的研究資金に係る手続きが 8,710 万ポンドで圧倒的に高い。次ぎに、EU の競争的研究資金に係る手続きが 1,830 万ポンドと高く。この両者(10,540 万ポンド)だけで、全体の約 65%を占める。

それに、HESA のデータ提出(820 万ポンド)、QAA の機関監査等(700 万ポンド)、HEFCE の研究評価(RAE)(680 万ポンド)、HEFCE の TRAC データ提出(650 万ポンド)、公的機関による各種コンサルテーション等(550 万ポンド)が続き、上記トップ 2 との合計(13,940 万ポンド)は、全体の約 85%を占める。

(留意事項)

○しかしながら、この調査結果は、多くの大学等の認識(負担は減少していない)と反目する。

これは、大学等の事務的負担の大部分は説明責任に関するものではないためである。この度の調査では、大学等の説明責任に直接関係する事務負担を対象としているが、大学等の認識は、①高等教育サービスの多様性、②より一般的な公的規制(雇用、健康、安全等)及び情報公開請求の影響の増大、③比較的目的新しいこと(TRAC やフルエコノミック・コストの導入等)など、ますます複雑化する

マネージメントの様々な要因を反映していることに起因している。

(提言)

○公的機関が説明責任に関する要求を簡素化すること、及び大学等がそれら要求への対応を学内のマネージメント・プロセスと密接に連携させることは、大学等の負担感を低減することに資する。また、成功事例を大学等の間で共有することは高等教育界全体の負担軽減に資する。

3. 参考資料

表 1 調査対象項目及び費用(2007年度)

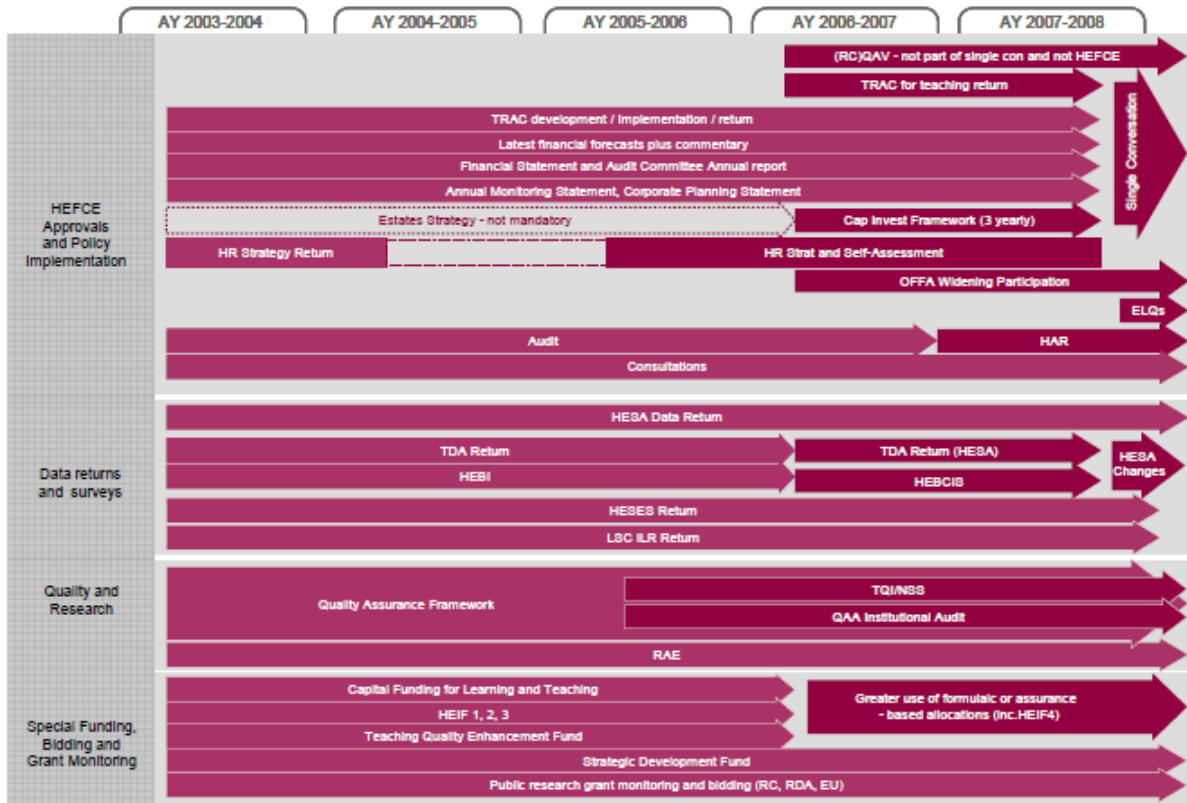
(単位:百万ポンド)

カテゴリー	項目 ※1	実施機関	項目費用	カテゴリー費用
研究資金関係 (Research related Obligations)	RC funding bidding and monitoring	RCs	87.1	112.7
	EU funding bidding and monitoring	EC	18.3	
	RAE	HEFCE	6.8	
	Research activity survey	HEFCE	0.4	
	RC Funding assurance programme	RCs	0.2	
政策関連・HEFCE関連 (Assurances and policy change & implementation)	TRAC return	HEFCE	6.5	25.3
	Consultations, Comms and surveys	公的機関全般	5.5	
	Access Agreement	OFFA	3.2	
	Annual approvals	HEFCE	2.5	
	その他	公的機関全般	7.6	
データ提出 (Data returns)	HESA data return	HESA	8.2	12.8
	Student Loan company data return	SLC	2.6	
	HESES data return	HEFCE	1.1	
	SHA data return	SHA	0.7	
	LSC data return	LSC	0.2	
質保証 (Quality Assurance)	Institutional audit / Degree awarding power	QAA	7.0	9.2
	National student survey	HEFCE	2.0	
	TQI	HERO	0.2	
その他 (Special Funding (excluding research))	SDF / HEIF 3 / CIF / SRIF / TIF / RDA	HEFCE RCs RDAs 等	3.2	3.2
合計			163.2	163.2

(出典) 2008年調査報告書の表7(p.40)及び表9(p.61)をもとにJSPS ロンドンが作成

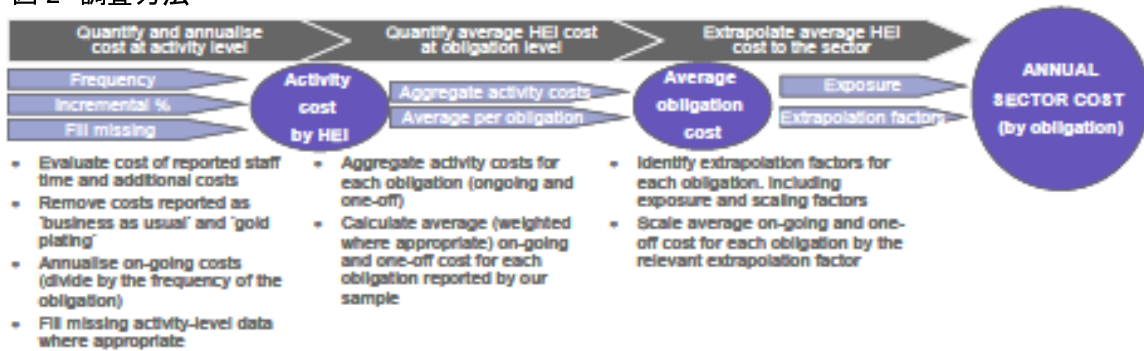
※1 各項目の詳細は、2008年調査報告書の表11(p.71)を参照

図1 主な調査対象項目(2003年度～2007年度)



(出典) 2008年調査報告書の図3(p.21)

図2 調査方法



(出典) 2008年調査報告書の図5(p.37)

4. URL 等

○HEFCE ニュース (2009年1月27日)

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2009/account.htm>

○2008年調査結果

http://www.hefce.ac.uk/pubs/rdreports/2009/rd01_09/

(了)